

うきょう 2020 12.15

市民しんぶん右京区版

冬のコロナ対策

3つの基本(マスク、手洗い、距離確保)に加え、
人が多いとき、出入りしたときは、十分な換気を。
外が寒いときは、室内の十分な加温を。

平成30年9月4日、猛烈な風を伴う台風21号が襲来。その時京都市は、過去に無い風被害を受けました。右京区でも至る所で被害が発生し、消防隊だけでは対応ができない状況でした。「門扉が倒壊しそうだ。」「電柱の電線が切断して、火花が出ている。」このような要請に、いち早く駆け付け対応したのが、右京消防団です。

目頃は違う仕事に就く地域住民で組織された右京消防団では、「Raise the Flag! (全ての災害現場に消防団の旗を掲げよ!)」を活動方針に掲げ、数時間で52件もの災害現場に出動。工務店勤務の団員が専門技術を活かして建物の倒壊危険を排除するなど、高い使命感と多様な潜在力が活かされ、被害を最小限に留めることができました。

いざという時、こうした安全で迅速な活動ができるよう、消防団は目頃から訓練に取り組んでいます。訓練のほか、区民の方々に向けた防火活動、警備活動と、地域を守るための活動を積み重ね、今年4月で70周年を迎えました。

右京消防団は、今後も自分たちのまちを未来へ繋ぐ活動を続けていきます。

「地域を守る」を未来へ繋ぐ 右京消防団発足70周年

伝統を未来へ繋ぐ活動も

愛宕山千日詣、京都五山送り火(鳥居形)などでは、地元消防団が京都の伝統行事の安心安全を担い、消防警備を担当しています。



右京消防団長メッセージ

右京消防団では、現在593名の消防団員が地域の安心安全の担い手として活動しています。



先代から受け継いだ郷土愛護の精神を持って、これからも地域の未来に向けた消防団活動を努めて参ります。
団長 橋本 弘嗣さん

問合せ 右京消防署 ☎871-0119

右京消防団員を募集中

対象は右京区に居住または通勤(通学)する18歳以上の方、興味を持たれた方は右京消防署までご連絡ください!